

氏名 隆島 研吾 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 隆島研吾:「福祉の Q&A 第 10 回 毎日行う転倒予防の簡身体操」 社会福祉セミナー 4-7 月号 NHK 出版 2016.4.1 発行 東京
- 2) 隆島研吾:「福祉の Q&A 第 11 回 座りすぎに注意!暮らしを見直し転倒予防を」 社会福祉セミナー 8-11 月号 NHK 出版 2016.8.1 発行 東京
- 3) 隆島研吾:「福祉の Q&A 第 12 回」 社会福祉セミナー 12-3 月号 NHK 出版 2016.12.1 発行 東京
- 4) 隆島研吾:「ADL」,脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル第 2 版一,長澤弘編. 文光堂,東京, pp176-183, 2017.3 (共著)
- 5) 隆島研吾:「家屋環境と環境」,脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル第 2 版一,長澤弘編. 文光堂,東京, pp211-214, 2017.3 (共著)
- 6) 隆島研吾:「QOL」,脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル第 2 版一,長澤弘編. 文光堂,東京, pp215-221, 2017.3 (共著)

4 学会等での活動

- 1) 尼子 雅美、隆島 研吾、高木 峰子、島津 尚子、斎藤祐美子:「日常生活活動における短下肢装具に求められる機能の比較検討 ～理学療法士と装具使用者へのアンケート調査より～」 第 51 回日本理学療法学会 札幌 2016.5.28
- 2) 隆島研吾:第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会 座長(生活環境支援系) 横浜 2016.11.29
- 3) 隆島研吾:第 34 回神奈川県理学療法士学会 特別企画 地域症例リレー「三浦半島と県域にわたる、時期別広域リレー」座長 横浜 2017.3.12

5 学会,協会,公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 副会長
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 表彰審査委員会担当理事
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会 日本地域理学療法学会代表運営幹事
- 5) 公益社団法人日本理学療法士協会 臨床実習の手引き作成委員会 委員
- 6) 神奈川リハビリテーション研究会 監事
- 7) 第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会 企画委員・運営委員・表彰審査委員長 2016.10.29-30 横浜

6 学内教育活動

- 1) 大学院保健福祉学研究科教授 M2 指導 1 名、M1 指導 3 名、修士判定主査
- 2) 日常生活活動学および同演習における視聴覚教材作成
- 3) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成

- 4) 地域理学療法学および同演習における視聴覚教材作成
- 5) 地域理学療法学特論（大学院）および演習における視聴覚教材作成
- 6) 在宅看護論における視聴覚教材作成
- 7) 平成 28 年度オープンキャンパス個別相談・模擬授業

7 学内各種委員会活動

- 1) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス研究会 世話人
- 2) 地域貢献研究センター運営委員

8 社会貢献

- 1) 公益社団法人川崎市看護協会主催：平成 28 年度訪問看護研修 講師 「リハビリテーション（理学）」、川崎市看護協会、平成 28 年 7 月 16 日・10 月 13 日
- 2) 神奈川県立よこはま看護専門学校 講義「疾病と治療 I（リハビリテーション医学）」平成 28 年 10 月 25 日
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 障害者総合福祉推進事業（厚生労働省委託）研究会代表
- 4) 神奈川県介護支援専門員実務研修 指導者
- 5) 川崎市障害程度区分認定審査会委員
- 6) 川崎市地域リハビリテーションコーディネーター
- 7) 川崎市福祉サービス第 3 者評価事業推進委員会委員
- 8) 公益財団法人日本訪問看護財団 研究倫理審査委員会委員
- 9) 三浦市地域ケア連携会議委員（学識経験者）
- 10) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会委員（学識経験者）
- 11) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会座長（学識経験者）
- 12) 三浦市自立支援協議会座長（学識経験者）
- 13) 知的障害者施設綾瀬ホーム 相談員

12 受賞

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 活動功労賞（永年表彰） 2016.6.12

氏名 菅原 憲一（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル 第2版. III 脳卒中・片麻痺の理学療法評価と治療介入. 18 治療的 rTMS 菅原憲一 文光堂, 東京 平成 29 年 3 月 25 日

2 学術論文

- 1) Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T. Effect of neuromuscular electrical stimulation on motor cortex excitability upon release of tonic muscle contraction. Somatosens Mot Res 2016 Sep - Dec;33(3-4):161-168
- 2) Suzuki T, Hiraiishi M, Sugawara K, Higashi T. Development of a smartphone application to measure reaction times during walking. Gait Posture 2016; 50: 217-222

4 学会等での活動

- 1) 電気刺激付与からの筋弛緩動作における大脳皮質運動野の興奮性変化 菅原 憲一, 田辺 茂雄, 鈴木 智高, 米津 亮 第 52 回日本理学療法学会 平成 28 年 5 月 27 日 札幌
- 2) 一側下肢の運動学習に伴う質脊髄路興奮性の変化と, 対側下肢へ及ぼすパフォーマンスの影響 大澤 竜司, 立本 将士, 土屋 順子, 沼田 純希, 田辺 茂雄, 鈴木 智高, 菅原 憲一 第 52 回日本理学療法学会 平成 28 年 5 月 27 日 札幌
- 3) 鈴木智高, 平石雅裕, 東登志夫, 菅原憲一. (2016). 歩行中の注意機能を評価する Probe Reaction Time 計測スマートフォンアプリケーションの開発, 第 51 回日本理学療法学会, 2016.5.29.
- 4) 鈴木智高, 平石雅裕, 東登志夫, 菅原憲一. (2016). スマートフォンアプリケーションを用いた歩行課題における注意需要の評価, 第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2016.10.29.
- 5) Effect of neuromuscular electrical stimulation on motor cortex excitability upon release of tonic muscle contraction Kenichi Sugawara, Shigeo Tanabe, Tomotaka Suzuki, and Toshio Higashi. XXI International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress. July5-8,2016. Chigago, ILLINOIS.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 理事
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 第 52 回日本理学療法学会 演題査読委員
- 4) 理学療法学 査読委員

6 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 筋骨格系機能障害診断学における視聴覚教材作成
- 3) 中枢神経系機能障害診断学における視聴覚教材作成
- 4) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 5) 大学院『運動機能制御学特論』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 6) 大学院『運動機能制御学特論』における実験指導
- 7) 大学院修士論文に関する指導教員

7 学内各種委員会活動

- 1) リハビリテーション学科理学療法学専攻 専攻長
- 2) 大学院運営委員会委員 委員
- 3) 博士課程設置検討委員会 委員

8 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員
- 2) 大学改革支援・学位授与機構 平成 28 年度大学機関別認証評価委員
- 3) 東海大学健康科学部社会福祉学科非常勤講師 「リハビリテーション論」

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 26 年度～平成 28 年度科学研究費助成（基盤研究 C）障がい児・者の運動学習に働きかける筋弛緩リハビリテーションプログラムの開発 研究代表者

氏名 内田 賢一（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 内田賢一（共著）：脳卒中理学療法実践マニュアル 第2版-肺理学療法. 長澤弘編. 文光堂. 東京. Pp233-239. 2017

4 学会等での活動

- 1) 内田賢一、高木峰子、濱野俊明：理学療法士を目指す学生の職業興味特性と臨床実習で適性に問題があると指摘された学生に関する研究. 第51回日本理学療法学術大会. 2016.5.28（札幌）
- 2) 鈴木康平、松本直也、古内碧、内田賢一、長澤弘：認知症を有する大腿骨近位部骨折症例の術後3日目における短期的歩行能力の予測. 第51回日本理学療法学術大会. 2016.5.28（札幌）
- 3) 齋藤 里美, 濱野 俊明, 高関 じゅん, 中原 洋太, 池田 華恵, 畠中 佳代子, 星 幸祐, 加藤 理恵, 捧 さやか, 内田 賢一: 大腿骨近位部骨折における術後機能回復の遅延因子と術後歩行開始日数の関連～90歳以上と70-80歳代の比較～. 第51回日本理学療法学術大会. 2016.5.28（札幌）

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省医道審議会 理学療法士・作業療法士国家試験委員会専門委員. 2016.4.1～2017.3.31
- 2) 神奈川県健康寿命日本一戦略会議 委員 2016.4.1～2017.3.31
- 3) 神奈川県商店街未病を治す取組事業選考会 審査委員 2016.4.1～2017.3.31
- 4) (公社) 神奈川県理学療法士会 理事 (学術局担当) 2016.4.1～2017.3.31
- 5) 全国大学理学療法学教育学会 理事 2016.4.1～2017.3.31
- 6) 第34回神奈川県理学療法士学会 学会賞審査委員会 委員 2017.3.12. (横浜)

6 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学専攻の学生に対する理学療法士としての教育的指導
- 2) 2年次必修科目「生活環境学」における視聴覚教材作成
- 3) 3年次必修科目「内部疾患系運動療法学」における視聴覚教材作成
- 4) 3年次必修科目「筋・骨格系運動療法学演習」における視聴覚教材作成
- 5) 3年次必修科目「理学療法管理学」における視聴覚教材作成
- 6) 3年次必修科目「スポーツ理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 7) 4年次必修科目「卒業研究」における指導 (2名)
- 8) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 9) 大学院 修士論文指導 (M2:1名)

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員 2014.4.1～2015.3.31
- 2) カリキュラム委員会 委員 2014.4.1～2015.3.31
- 3) 大学院 入試作問・採点・面接委員 2014.4.1～2015.3.31
- 4) 学部長・研究科長・学科長 選挙管理委員会 委員 2014.4.1～2015.3.31

8 社会貢献

- 1) 大型店舗「よこすかモアーズシティ」へのバリアフリー構造の現状調査協力：理学専攻2年生の必修科目「生活環境学」において、学生数名が虚弱高齢者体験装具を装着した状態で「よこすかモアーズ」の店内を見て周り、昨年改修した個所を中心に虚弱高齢者にとって優しい店舗のあり方をグループワークで検討した。検討結果は店側へ提供することとなり、今後の店舗改修の資料として使用されることになった。
- 2) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2016.10.1～2017.3.31.
- 3) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2016.4.1～2017.3.31

9 講演，放送

- 1) クローバーホスピタル「心臓リハビリテーション～回復期から在宅における評価方法、リハビリテーションプログラム」 2016.6.29.
- 2) 横浜市総合リハビリテーションセンター「呼吸機能と呼吸介助方法」 2016.9.12.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A(協働研究): 健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究.
研究代表者.

14 その他

- 1) オープンキャンパス 入試相談
- 2) 大学入試センター試験 監督者

鈴木 智高

2 学術論文

- 1) Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T. Effect of neuromuscular electrical stimulation on motor cortex excitability upon release of tonic muscle contraction. *Somatosens Mot Res* 2016; 1-8
- 2) Suzuki T, Hiraishi M, Sugawara K, Higashi T. Development of a smartphone application to measure reaction times during walking. *Gait Posture* 2016; 50: 217-222

4 学会等での活動

- 1) 鈴木智高, 平石雅裕, 東登志夫, 菅原憲一. (2016). 歩行中の注意機能を評価する Probe Reaction Time 計測スマートフォンアプリケーションの開発, 第 51 回日本理学療法学会, 2016.5.29.
- 2) 鈴木智高, 平石雅裕, 東登志夫, 菅原憲一. (2016). スマートフォンアプリケーションを用いた歩行課題における注意需要の評価, 第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2016.10.29.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 2016.4～2017.3
- 2) 第 34 回神奈川県理学療法士学会 準備委員. 2016.4～2017.3

6 学内教育活動

- 1) 電気生理診断特論. 2016.4～2016.6
- 2) 運動学演習. 2016.5～2016.6
- 3) ヒューマンサービスⅡ. 2017.1.17
- 4) 卒業研究法 学生 2 名指導. 2016.4～2016.11
- 5) 運動学Ⅰ 講義. 2016.10～2017.3
- 6) 生活環境学 学外フィールドワーク補助. 2016.12.9, 2016.12.16
- 7) 機能障害診断学総論 講義. 2016.12.17
- 8) 機能診断学演習 講義. 2016.10～2017.3
- 9) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2016.12～2017.3
- 10) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2016.11.28
- 11) 評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等. 2016.4～2017.3
- 12) 理学療法専攻内実習関連業務担当. 2016.4～2017.3
- 13) 解剖学実習Ⅱ引率. 2016.9.20

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会. 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務担当. 2016.4～2017.3

9 講演, 放送

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会平成 28 年度第 2 回新人教育プログラム研修会講師「理学療法研究方法論」. 2016.9.25

11 学内研究助成金の受託

- 1) 鈴木智高. 歩行中の注意機能を評価するスマートフォンアプリケーションの開発. 研究助成 B. 170 千円. 2016.4～2017.3

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師

氏名 島津 尚子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル. 長澤弘編. 装具療法. Pp326-346. 文光堂. 東京(共著)

4 学会等での活動

- 1) 島津尚子, 隆島研吾, 小池友佳子: 急性期病院における下肢切断者に対するリハビリテーションの現状と理学療法士の認識調査. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2016.10.29
- 2) 黒澤千尋, 島津尚子: 前額面上における姿勢アライメントに着目した高齢者の方向転換動作の分析. 第51回日本理学療法学会大会, 2016.5.29
- 3) 黒澤千尋, 島津尚子: Timed Up and Go test における方向転換動作中のステップの向きに関する考察, 第34回神奈川県理学療法士学会 (横浜) 2017.3

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員(2016.4.1～2017.3.31)
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長(2016.4～2017.3.31)
- 3) 一般社団法人日本義肢装具学会研修委員(2016.4～2017.3.31)
- 4) 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会学会賞選考委員(2016.4.1～2016.12)
- 5) 神奈川リハビリテーション研究会幹事(2016.4.1～2017.3.31)

6 学内教育活動

- 1) 理学療法学概論における視聴覚教材作成
- 2) 理学療法学概論演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 感覚運動アプローチ論における視聴覚教材作成
- 7) 理学療法卒業研究にて学生2名担当
- 8) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー「義肢装具学」担当
- 9) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 10) 大学院生2名 副指導教員担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2016.4.1～2017.3.31

8 社会貢献

- 1) 公立大学法人 横浜市立大学附属病院非常勤講師(2016.4.1～2017.3.31)
- 2) オープンキャンパスにおける個別進学相談(2016.8)
- 3) 高校生向け大学説明会模擬授業(2016.7)

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会研修会 第一回新人教育プログラム講師「リスクマネジメント(安全管理と感染予防を含む)」2016.7
- 2) 島津尚子, 隆島研吾, 小池友佳子: 急性期病院における下肢切断者に対するリハビリテーションの現状と理学療法士の認識調査. 平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2016.7

11 学内研究助成金の受託

- 1) 島津尚子, 黒澤千尋; 片麻痺者のステップ肢位における荷重移動能力と歩行能力の検討. 研究助成 B (奨励研究): 116 千円 2016.6～2017.3.

14 その他

- ・専門理学療法士(神経)

氏名 高木 峰子 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 高木 峰子, 川村 博文, 鈴木 智高, 菅原 憲一, 鶴見 隆正. 極超短波治療器の使用と管理に関するアンケート調査. 理学療法学. 2016 ; 43 (2) : 190-191.

4 学会等での活動

- 1) 高木 峰子, 川村 博文, 鈴木 智高, 菅原 憲一, 鶴見 隆正. 臨床における極超短波治療器とその周辺の機器と人に対する電磁場環境の安全管理について. 第 51 回日本理学療法学術大会. 2016.5.
- 2) 高木 峰子, 松谷 綾子, 川村 博文, 奥井 伸雄, 山田 拓実. 干渉低周波療法が骨盤底筋群の自覚的収縮感に与える影響. 第 24 回日本物理療法学会学術大会. 2016.10.
- 3) 第 24 回日本物理療法学会学術大会座長. 2016.10.
- 4) Mineko Takagi, Takumi Yamada, Ayako Matsuya, et al. EFFECT OF SURFACE INTERFERENCE CURRENT IN PELVIC FLOOR MUSCLE TRAINING FOR STRESS URINARY INCONTINENCE IN WOMEN: A PILOT STUDY. 13th Asian Confederation for physical Therapy Congress.2016.10.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県理学療法士会生涯学習部員. 2016.4～2017.3
- 2) 神奈川県理学療法士会学術誌編集部査読委員. 2016.4～2017.3
- 3) 日本物理療法学会評議員. 2016.4～2017.3
- 4) 日本物理療法学会研究助成選考委員長. 2016.4～2017.3
- 5) 第 24 回日本物理療法学会演題査読 2016.8.
- 6) 第 35 回関東甲信越ブロック学会演題査読 2016.8.
- 7) 第 34 回神奈川県理学療法士会演題査読. 2016.11.
- 8) 第 52 日本理学療法学会演題査読. 2017.2.

6 学内教育活動

- 1) 物理療法学 視聴覚教材を作成, 講義.
- 2) 物理療法学演習 実験, 実技指導.
- 3) 理学療法学研究法 視聴覚教材を作成, 講義.
- 4) 特定疾患理学療法学特論 視聴覚教材を作成, 講義.
- 5) 理学療法過程論 視聴覚教材を作成, 講義.
- 6) 理学療法事例検討論 担当.
- 7) 機能診断学演習の反射, 肺機能検査の視聴覚教材を作成, 講義.
- 8) 臨床理学療法学特論 (大学院) の視聴覚教材作成
- 9) 臨床実習指導者会議に関する運営担当.
- 10) 理学療法卒業研究にて学生 2 名担当.

- 11) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー.
- 12) 評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等.
- 13) 大学院博士前期課程学生指導補助 1 名.

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスでの個別相談 2016.8.
- 2) 公開講座当日スタッフ (2 回) 2016.05,10.
- 3) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院研究指導. 2016.4.～

9 講演, 放送

- 1) 高木峰子. 神奈川県理学療法士会新人教育プログラム講演「協会組織と生涯学習システム」2016.7.
- 2) 高木峰子. ゆめクラブ大学講演「フレイルと運動」2016.10

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高木峰子. 経腹超音波診断による骨盤底筋群評価手法検討のための適切な測定肢位の選定. 平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B (奨励研究) 112 千円

14 その他

- 1) 東海大学介護福祉コース「リハビリテーション論」非常勤講師 2016.9.～2017.3.

黒澤 千尋

2 学術論文

- 1) 黒澤千尋:健常高齢者における Timed up and Go test の運動学的分析,平成 28 年度 国際医療福祉大学大学院博士課程学位論文.2017.3.

4 学会等での活動

- 1) 黒澤千尋,島津尚子:前額面上におけるアライメントに着目した高齢者の方向転換動作の分析,第 51 回日本理学療法士学会(北海道) 2016.5 月
- 2) 黒澤千尋,島津尚子:Timed Up and Go test における方向転換動作中のステップの向きに関する考察,第 34 回神奈川県理学療法士学会(横浜) 2017.3 月

5 学会,協会,公的団体の委員など

- 1) 第 35 回関東講師熱ブロック理学療法士学会 運営委員 2016.10 月

6 学内教育活動

- 1) 運動学演習 計測補助 2016.4.8～6.3.
- 2) 動作解析学 計測補助 2016.6.7～7.26.
- 3) 機能診断学総論 2017.1.5.
- 4) 日常生活活動学演習 2016.10.31
- 5) 中枢神経系機能診断学 補助
- 6) 国家試験対策ショートレクチャー 2016.11.21.
- 7) 卒業研究指導 学生 1 名指導. 2016.4～2016.11
- 8) 保健医療福祉論 現場訪問引率,事前・事後指導
- 9) 解剖学実習Ⅱ 引率 2016.10.8.
- 10) 卒業研究 発表会準備,論文集制作担当
- 11) 評価学実習,総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ 現場訪問等
- 12) 非常勤講師 調整担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員会
- 2) 時間割ワーキンググループ
- 3) 動物実験部会
- 4) オープンキャンパス業務
- 5) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会

8 社会貢献

- 1) 横浜清陵高校 特色科目「コミュニケーション」のインタビュー協力.2016.10.26.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒澤千尋,島津尚子;高齢者の転倒予防のための新たな評価法の検討～臨床応用に向けた検証～ 研究助成 B 333 千円 2016.4～継続中
- 2) 内田賢一,中田智恵,岩佐敏,黒澤千尋,長澤弘;健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究 研究助成 A 198 千円 2016.6～継続中

氏名 小池 友佳子

1 著書

- 1) 小池友佳子:非麻痺側機能.脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル第2版.長澤弘 編.文光堂. pp188-193. 2017

4 学会等での活動

- 1) 田中亨典, 足立徹也, 川寄康太, 呂善玉, 小池友佳子, 米村祐輝, 池田智子, 金野千春:歩行神経筋電気刺激装置を用いた歩行練習の即時的効果の検証. 第51回日本理学療法士学会. 北海道. 2016.5.29
- 2) 島津尚子, 隆島研吾, 小池友佳子:急性期病院における下肢切断者に対するリハビリテーションの現状と理学療法士の認識調査. 平成28年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会. 2016.7.6
- 3) 島津尚子, 隆島研吾, 小池友佳子:急性期病院における下肢切断者に対するリハビリテーションの現状と理学療法士の認識調査. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 横浜. 2016.10.29
- 4) 米村祐輝, 川寄康太, 呂善玉, 田中亨典, 池田智子, 金野千春, 小池友佳子:歩行神経筋電気刺激装置とゲイトソリューションデザインを使用した歩行練習の即時的効果. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 横浜. 2016.10.30

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部副部長 2016.4～2017.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 2016.4～2017.3
- 3) 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会 運営委員 2016.10.29～10.30
- 4) 第34回神奈川県理学療法士学会 運営委員 2017.3.12

6 学内教育活動

- 1) 機能障害診断学総論 講義 2016.1.12
- 2) 機能診断学演習 講義 2016.10.6～11.17, 12.15
- 3) 地域理学療法学 講義 2016.5.6
- 4) 地域理学療法学 学外見学引率 2016.11.5
- 5) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2016.11.14
- 6) 解剖学実習Ⅱ引率 2016.10.19
- 7) 保健医療福祉論Ⅰ引率, 事前・事後指導 2016.7～2016.8
- 8) 評価学実習, 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等
- 9) 臨床実習指導者会議に関する運営担当
- 10) 臨床実習事前オリエンテーション 2016.10.31, 11.8, 11.14, 12.5
- 11) 卒業研究指導 2名
- 12) 28年度チューター会担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会
- 2) 図書・情報委員会
- 3) 国家試験委員担当
- 4) オープンキャンパス担当 2016.8

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス模擬授業 2016.8.7
- 2) 逗子市社会福祉協議会主催 家族介護者教室「介護技術～移動・移乗の介助を中心に～」講師 2016.10.25